



ユーザの削除

Cisco CallManager ディレクトリからユーザのグループを削除することができます。既存のユーザレコードは、次の2つの方法のいずれかによって検索できます。

- [クエリーを使用したユーザの削除 \(P.18-2\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したユーザの削除 \(P.18-4\)](#)

クエリーを使用したユーザの削除

クエリー フィルタを作成してユーザ レコードを検索し、ユーザを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ユーザ レコードを検索するためのクエリーを作成してユーザを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 **Bulk Administration > Users > Delete Users > Query** の順に選択します。

Delete Users Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の Find User where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- User ID
- First Name
- Middle Name
- Last Name
- Manager
- Department Name

2 番目の Find User where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- begins with
- contains
- is exactly
- ends with
- is empty
- is not empty

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべてのユーザを検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、Search Within Results チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **AND** または **OR** を選択して、ステップ 2 ～ 3 を繰り返します。

ステップ 5 **Find** をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- User ID
- First Name
- Middle Name
- Last Name

- Manager
- Department Name
- LDAP Sync Status

ステップ 6 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 Run Immediately オプション ボタンをクリックしてユーザ レコードを即座に削除するか、Run Later をクリックしてユーザ レコードを後で削除します。

ステップ 8 **Submit** をクリックして、ユーザ レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 9 Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.18-5 の「関連項目」](#)を参照してください。

カスタム ファイルを使用したユーザの削除

テキスト エディタを使用してユーザ ID のカスタム ファイルを作成し、ユーザを検索して削除できます。

始める前に

1. テキスト ファイルを作成し、削除するユーザ ID を 1 行に 1 つずつ指定します。
2. カスタム ファイルを Cisco CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してユーザを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Bulk Administration > Users > Delete Users > Custom File の順に選択します。

Find and List Users - Delete Users Based on Custom File ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Delete Users where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- User ID
- First Name
- Middle Name
- Last Name
- Department

ステップ 3 Custom file where ドロップダウン リスト ボックスで、カスタム ファイルのファイル名を選択します。

ステップ 4 クエリーに必要な情報が含まれていることを確認し、**Find** をクリックします。

ステップ 5 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 Run Immediately オプション ボタンをクリックしてユーザ レコードを即座に削除するか、Run Later をクリックしてユーザ レコードを後で削除します。

ステップ 7 **Submit** をクリックして、ユーザ レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 8 Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.18-5 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [クエリーを使用したユーザの削除 \(P.18-2\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したユーザの削除 \(P.18-4\)](#)

